

# 那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成22年度第10回（定例会）

署名人 金城真徳

委員長 田端温代

開催日時 平成22年8月19日（木）

開会 午後2時00分

閉会 午後3時50分

開催場所 那覇市教育委員会 第1会議室

出席委員 田端温代委員長、金城真徳委員  
城間勝委員、城間幹子教育長

## 議 案

第19号 平成22年教育事務点検評価報告書の議会への提出について

第20号 職員人事（管理職）について

## 報 告

- ・管理職の途中人事の内申について
- ・県費負担教職員の退職について

## 協 議

- ・那覇市立学校適正配置計画素案の策定について（継続審議）

## 出席職員

新城和範生涯学習部長、盛島明秀学校教育部長、佐久川馨生涯学習部副部長  
東恩納隆栄総務課長、兼浜みどり学校教育課副参事、外間章学校教育課副参事  
伊禮弘匡総務課副参事、仲程直毅総務課副参事、根間秀夫総務課副参事  
當間千明総務課主査、平良美夏総務課主査、粟森俊司学校教育課主任主事

会議録作成 仲間稔総務課主査

田端委員長　ただいまから平成22年度第10回教育委員会会議定例会を開催いたします。  
本日の会議録署名は金城委員にお願いいたします。  
では、報告「管理職の途中人事の内申について」に関しては、人事に関する議案のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」を適用し、非公開とすることが適当であると思われまますので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全　員　異議なし

田端委員長　議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。  
～ 非公開 ～

田端委員長　非公開を解きます。「管理職の途中人事の内申について」報告を了承したいと思います。次に報告「県費負担教職員の退職について」に関しては、人事に関する議案のため、非公開とすることが適当であると思われまますので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全　員　異議なし

田端委員長　議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。  
～ 非公開 ～

田端委員長　非公開を解きます。「県費負担教職員の退職について」報告を了承したいと思います。次に議案第20号「職員人事（管理職）について」に関しても人事に関する議案のため、非公開とすることが適当であると思われまますので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全　員　異議なし

田端委員長　議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。  
～ 非公開 ～

田端委員長　非公開を解きます。議案第20号「職員人事（管理職）について」議決確定します。続きまして議案第19号「平成22年教育事務点検評価報告書の議会への提出について」説明をお願いします。

新城部長　提案  
東恩納課長　説明  
當間主査　説明

田端委員長　まず2、3ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。  
2ページの（3）点検評価の方法の1行目に、基本理念であるのか都市像なのか書き加えた方がいいと思いますがいかがでしょうか。

新城部長　ご指摘のありました、那覇市総合計画の子どもの笑顔のところにな覇市の都市像という表現で加えたいと思います。

田端委員長　6、7ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。

城間委員　那覇こどものためのデザインで内部評価はB、外部評価はCということで、説明でNPO団体が変わったためとありますが、それはNPOに課題があったのでしょうか。

集める手段として、このNPOがよくなかったのか。また次年度はどうするという考えがあれば教えてほしい。

東恩納課長 委託先のNPO団体が変わり、前の団体はヒップホップ系の利用が頻繁に使っていたということもあり延べ利用者が多かった。変わったことによりそういったジャンルがなかったため、利用者が少し減ったということがあります。講座内容についてはかなり工夫していますが、まだその成果が出ていないと思います。

城間委員 まずたくさんの利用者を集めること。たくさん集めた中で少しずついろんなことを話して、その気にさせていくという意味では、優秀な5、6名よりも50、60名のたくさんの子どもを集めた方がこの事業としては良いと思います。有効性、効率性が共に2となっているので、いったい何が悪いのか心配です。

新城部長 定期的に活動していたヒップホップの団体を抱えていた委託業者が変わったことにより、利用者が極端に減ったことが評価に繋がっています。予算をつけるなど大幅な見直しが必要という指摘もありますので、今後の対応としてがんばっていきたいと思います。

田端委員長 感想ですが、前年度も思わしくない評価だったと思います。6ページに「報告の中で、各課、各事業に対する理念・ビジョンの理解、事業に対しての熱い思いが、課・担当により温度差があるように感じられた。また、NPO法人等への委託事業についても同様な感があった」ということですが、もしかしたら、担当課と委託先とのコミュニケーションが取れていないのではないのでしょうか。3ヶ月に1度など、この事業が順調に遂行されているかを検証しているかどうかが大きな問題だと思う。子どものためのデザインという事業が発足された当時の志が素晴らしいですし、那覇市にはあってほしい事業だと思う。担当課と委託先との関わりをもう一度検討していただければと思います。よろしくお願いします。

続きまして、8、9ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。では③の説明で「公民館周辺地域は恩恵大であり公平性の面を考慮する必要がある」とありますが、具体的にどのようなことが指摘されたのですか。

東恩納課長 どうしても公民館に近い地域はサービスが充実している。遠い地域は少し足りないのではという指摘です。公民館は公益的なサービスを行っていますが、どうしても遠い地域へのサービスが弱いという指摘でした。

田端委員長 ⑤の説明で、「市民ニーズに応える館員の専門性が強く望まれる」があり、臨時職員が多いと思いますが、研修の機会というのは確保されているのでしょうか。

東恩納課長 図書館職員には、本務の職員と非常勤の職員と臨時の職員がおります。県立図書館を中心とした全体の研修もあります。那覇市は7館の図書館がありまして、それぞれの館の得意分野で専門性を高めています。

田端委員長 続きまして、10、11ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。

城間委員 ⑧で「学校給食の調理業務を民間委託することにより、大きな経費削減効果が出ている」とありますが、具体的な金額があれば教えてほしい。

- 伊禮副参事 主に人件費部分で、1校あたり8百万円ほどの経費削減になります。進め方については、現業職員の退職不補充で、2年ごとに2校を考えています。
- 金城委員 民間活用については大変すばらしいことだと思いますが、経費節減の結果、質の低下がないようにしてほしい。
- 伊禮副参事 調理業務は委託になっておりますが、栄養士は本務職員が行っています。調理する部分だけを民間に委託していますので、質の低下ということはありません。
- 田端委員長 10ページの⑦で「幼稚園教育の充実に寄与してほしい」とあります。那覇市の5歳児の数を調べましたら2,202人、1年生の在籍が3,361人ということで、約30%が那覇市の私立の幼稚園に通っている。なぜ保護者が公立の幼稚園を選ばないかという、たぶん給食が無いことが大きな原因だと私は思います。那覇市では要保護世帯がかなり多いと聞いております。私立幼稚園に通っている子ども達は給食もあって、きちんとした教育も受けられ、公立の幼稚園は午前中で終わるということは更なる公立幼稚園離れがあると思います。これはとても予算が必要なことですが、この辺りは行政の大きな課題。外部評価委員の皆さんも、何とかして幼稚園に入園する子ども達の数を増やしていく努力をしていただけないかと同じ気持ちだと思います。
- 盛島部長 幼稚園に給食が提供できるかにつきましては、おっしゃるように予算が伴うことですので、調整しながら検討進めていきたいと思っております。もっと魅力を作っていくと、得策をやっていかないと公立幼稚園に入園する子ども達は増えないと思っております。
- 田端委員長 よろしく申し上げます。せっかくきちんとした施設がどこの学校にもあるので十分に活用していけるシステムを作っていただければいいと思っております。
- 続きまして、12,13ページについて、ご質問等ございましたら申し上げます。⑩ですが、あれほど先生方ががんばっており、なぜだろうと思っておりますが、内容は検討されましたでしょうか。
- 盛島部長 中学校の数学で4年間の調査では全国との開きが-12ポイントありました。それが2回目では-10ポイント、3回目では-8ポイントと下がってきて、今回-6ポイントくらいと思って期待していたら、また元に戻って-10ポイントになってしまいました。今回は先生方の授業力、指導力をしっかり磨いていこうということで指導主事は一生懸命行いました。これからもしっかり、小学校も中学校も研究していかないといけないと思っております。そうすると当然、授業の質が高まっていきます。
- 城間委員 以前聞いた話で、秋田県が良い理由は、生活が安定していること。沖縄は離婚率が1番で、秋田は下から2番。それがすべてではないと思いますが、そういうことも含めて学習のあり方、宿題の出し方、補充授業の仕方など考えないと、秋田がやっている同じようなやり方では私は通用しないと思っております。では、家庭まで入っていけるかと言えば、それはできないので、そういった子ども達も含めた前提で、どうあるべきかと考える必要がある。少なくとも基本的なことを身につけさせるという意味では先生方にも当然責任はあると思っておりますが、定着させたり、学んだものを膨らましたりするのには家庭での予習、復習というのはとても大事。学校だけ一生懸命工夫しても当然

無理です。家庭に帰った時にもできるような仕組みをどのように作っていくか。その辺も含めて先生方が難儀しないといけないのかと感じたりします。

盛島部長       ある調査で、沖縄の男子の子ども達は土日に全く勉強しない子が22%います。全国は13%。宿題を全くしない中学生は那覇市で12%、全国は2%。この差が先ほどありましたように、家庭で勉強させる習慣が必要。先生方の指導力アップとこの両方をしっかりやらないといけないと思います。

金城委員       学力向上ということは必ずやらなければならないことですが、子ども達がやる気を起させるような言葉をかけることによって大きな変化が見られることがあります、そういったところから、生活の向上をさせるというのはどうでしょうか。

城間教育長     学力の結果については、分析して、次の対策はどうしたらよいか、学校がやるべきこと、教育委員会がやるべきことは何か。この結果を基に模索して、検討していく材料にしています。教師の仕事の大きな根幹は授業。授業をどうするか、子ども達一人ひとりにとって最良の人生を送ってもらうために、そのツールとして学力というのは非常に大事な部分とっております。委員がおっしゃるように、教育の目標として一番トップにあるのは人間としての人格の形成があります。教師は教育者としてがんばっていけるように、先生方にはがんばってほしいと思います。学力対策に関して現在原因がどこにあるのか、どうしたらいいのか、ということを中心として教育委員会もみんなで工夫しながら対応していこうとしていますので、何とか踏ん張ってがんばりたいと思います。状況としまして、特に中学校の先生方は、がんばろうという雰囲気の見えてきています。

田端委員長     一番のポイントは家庭の部分だと思いますが、家庭の部分の足りなくなった部分をどのように補完してあげるか。これにつきると思いますが、たくさんの皆さんとこのことについて議論して、学校、先生方が生かしていければありがたいと思います。

続きまして、14、15ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。14ページの教育課題調査研究事業ですが、もうちょっと予算がほしいという思いがあります。研究事業ができる先生は5名ですよね。できることなら数値目標を10名にもっていけるようにがんばっていただきたい。こういう時代だからこそ、先生方の質を高めるために、学力を向上させると言いながら、先生の勉強する機会が少なくなっているというのは反比例している。そのために研究所へ少しでも予算をつけていただけるようがんばってください。それから博物館に小中学生が来る人数が少ないということがありますが、この件につきまして教えてください。

東恩納課長     市内の小中学生の利用が少ないという指摘があります。博物館も出前講座など行っていますが、学校が博物館と連携した授業をやるのが少なく、移動をどうするか、など課題もたくさんあり、来やすい学校はいいが、そうでない学校はどうするか、というご意見もありました。

田端委員長     試算してみましたが、博物館バスを全小学校36校に年2台、5万円としまして、

年間360万円となりますので是非お願いします。

続きまして、16、17ページについて、ご質問等ございましたらお願いします。

城間委員 17ページの「しかしながら、評価委員の意図と事業担当の提出資料に一部食い違いがあった」とありますが、こういった内容ですか。

伊禮副参事 評価委員としての見てみたい視点と、担当課として説明したい視点の食い違いがありました。

田端委員長 評価委員の皆さんは次年度も同じ方でしょうか。それとも交代も考えているのでしょうか。できることなら、交代していけるようなシステムがあってほしい。

伊禮副参事 任期は2年となっています。評価委員は5名いまして、任期が異なる2、3名が入れ替わっていく形で進めていきます。

田端委員長 よろしいでしょうか。では、議案第19号「平成22年教育事務点検評価報告書の議会への提出について」原案どおり決定してよろしいですか。

全 員 異議なし

田端委員長 議案第19号「平成22年教育事務点検評価報告書の議会への提出について」議決確定します。続きまして協議「那覇市立学校適正配置計画素案の策定について」に関しては、前回同様、市立小中学校の具体的な学校名を挙げて協議を行うことが想定されています。そのため、公開の会議の場で、想定していない学校名などを挙げて協議を進めた場合の市民に対する影響は非常に大きいと考えられます。また、そのことによって、公正な審議が保てないことなどのことも考えられます。したがって、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」の規定に基づき、非公開とすることが適当であると思われまますので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全 員 異議なし

田端委員長 議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

田端委員長 非公開を解きます。協議「那覇市立学校適正配置計画素案の策定について」は、審議未了により次回の教育委員会会議の継続審議とします。

以上をもちまして、平成22年度第10回教育委員会会議を終了します。